

論文審査の要旨

報告番号	甲・㊦ 第 2978 号	氏名	鈴木 賢一
論文審査担当者	主査 岩井 信市 副査 中村 明弘 副査 佐藤 均		
(論文審査の要旨)			
<p>本論文は、抗悪性腫瘍薬に起因する悪心嘔吐 (CINV) に対して、新しい制吐薬であるパロノセトロン (PALO) のグラニセトロン (GRA) に対する優越性を示し、さらに GRA 群において ABCB1 トランスポーターの遺伝子多型の有無による制吐効果の違いを明らかにしたものである。</p> <p>本研究では、GRA に対する PALO の優越性を検証するために二重盲検比較無作為化第Ⅲ相試験を実施した。その結果、ALO 群は GRA 群に比べ全期間の嘔吐完全抑制 (CR) 率はそれぞれ 65.7%、59.1%を示した。遅発期の CR 率では PALO 群が GRA 群に比べ約 8%良好であった。さらに、GRA 群においては ABCB1 トランスポーターの遺伝子多型である ABCB1 3435 TT 型を有している症例で、明らかに制吐効果が高いことが解った。従って、ABCB1 3435 TT 型を有している場合は、安価な GRA でも十分な制吐効果を持つことが明らかにされた。</p> <p>これらのことは、新知見で有り、学術上価値があるものと判断した。従って、薬学博士を授与するに十分値するものとする。</p>			

(主査が記載、500 字以内)